

東アジア地域に視点をおいた対北米コンテナ貨物流動分析(2001)

白井 宗一郎*・高橋 宏直**

要 旨

現在の海上コンテナは、北米、欧州、東アジアの3極を中核として流動している。この3極のうち、特に東アジアを核とした流動量および東アジア域内での流動量が著しく増大している。また、世界に対する東アジア地域諸国におけるコンテナ港湾取扱量のシェアは増大しており、特に中国が著しく伸びている。

こうした状況の下、本研究では、このように近年の流動量および増加率が著しい東アジア地域における新たな動向を把握するために、主要港湾におけるコンテナ輸送の特性分析を目的とする。具体的には、コンテナ輸送が盛んである対北米コンテナ貨物に着目し、東アジア地域の主要コンテナ港湾での流動パターンの分析を行った。さらに、東アジア地域のうちコンテナ貨物の増大が著しい中国の主要港湾について流動パターンの分析を行った。

これらの分析から、コンテナが港湾を通過するパターンの実態を把握した。東アジア地域の主要港湾におけるコンテナ流動パターンが直行コンテナおよびトランシップコンテナを中心としていることを明らかにした。また、中国の主要港湾におけるコンテナ流動パターンが直行コンテナおよびフィーダーコンテナを中心とし、そのフィーダーコンテナの主な流動先となる香港港に対する依存度が変動していることを明らかにした。

キーワード：PIERS、コンテナ貨物流動、トランシップコンテナ、フィーダーコンテナ

* 港湾研究部港湾計画研究室研修生（三井共同建設コンサルタント株式会社）

** 港湾研究部港湾計画研究室長

〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1 国土交通省国土技術政策総合研究所

電話：0468-44-5027 Fax：0468-44-5027 E-mail：shirai-s92y2@ysk.nilim.go.jp

An Analysis on the Flow of North American Containerized Cargo in East Asian Region (2001)

Soichiro SHIRAI*

Hironao TAKAHASHI**

Synopsis

Owing to the recent expansion of East Asian economies, there has been rapid growth in the volume of international marine container transport in the world. In addition this, the significant change in the international marine container is caused by the change of the trade structure, the trend of enlarging the size of containerships and others.

In this paper, the flow and trend of international marine container between Asia and North America were analyzed. This analysis showed the characteristics of flow patterns in principal East Asia ports and Chinese main ports. In particular, one of characteristics is that the pattern of Chinese main ports depended on the direct flow and feeder flow.

Key Words : PIERS, Containerized Cargo Flow, Transship Container, Feeder Container

* Trainee of Port Planning Division, Port and Harbor Department (Mitsui Consultants Company, Ltd.)

** Head of Port Planning Division, Port and Harbor Department

3-1-1 Nagase, Yokosuka, 239-0826 Japan

Phone : +81-468-445027 Fax : +81-468-445027 E-mail : shirai-s92y2@ysk.nilim.go.jp